



やまだ いっこう

山田一功県政レポート

平成26年5月15日発行 Vol.6

発行者 山梨県議会議員 山田一功 甲斐市宇津谷1008 Tel:055-226-8111
http://www.yamada-ikko.info/ E-mail:ikkoyama@green.ocn.ne.jp

「暮らしやすさ日本一」の山梨を実現するため、本年度も尽力してまいります。

平成26年2月25日(火)、定例県議会にて、一般質問をさせていただきました内容を中心に報告させていただきます。質問の様子がTV録画でご覧いただけます。(上記ホームページへ)

山田一功



2月定例会にて質問中



議場上から



発言を求める



本を参考に質問



全員防災服で議場へ



新装された議会を見学に来ませんか？

2月25日議会傍聴いただいた皆様

平成26年度当初予算及び議決事項《抜粋》

●可決された主な議案

- ・専決処分事項を指定する件中改正の件
- ・山梨県議会会議規則中改正の件

議員報酬の削減を継続!!

- ・山梨県口腔の健康づくりの推進に関する条例制定の件
- ・山梨県理容師法施行条例及び山梨県美容師法施行条例中改正の件
- ・平成26年度山梨県一般会計予算
- ・平成25年度山梨県一般会計補正予算
- ・平成26年度山梨県一般会計補正予算

●可決された意見書

- ・手話言語法（仮称）の制定を求める意見書
- ・ウィルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

●採択された請願

- ・明野処分場の早期閉鎖を求めることについての請願事項の一明野処分場を早期に閉鎖し、できるだけ安全対策を講じるよう、山梨県及び財団法人山梨県環境整備事業団に求めること
- ・手話言語法（仮称）の早期制定を求めること
- ・ウィルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関することについて

2月定例県議会(2/19~3/20)一般質問要旨

Q インフラの老朽化について

- 県では、インフラ長寿命化基本計画を踏まえ、老朽化対策に今後どのように取り組むのか。
A. 県では、来年度から、この計画の策定に本格的に着手し、老朽化対策を一層進めていく。
- 県では公共施設等総合管理計画の策定にどのように取り組むか。
A. 今後、総務省から具体的な指針が示されているので、速やかに策定に取りかかっている。
- 全ての市町村において、策定に当たり、県はどのような助言等を行うのか。
A. 説明会開催などによる情報提供や、各市町村の進捗状況に応じた助言などを行っていく。

Q 税収確保対策について

- 徴収率の全国順位が39位と、低迷している理由について。
A. 一件当たりの滞納額が高額で、高額困難案件の滞納整理が、思うように進んでいないことが徴収率を落とす原因となっている。
- 徴収職員の増員を伴うことなく、高額困難案件の滞納整理を抜本的に進めるため、どのような対策をとっていくのか。
A. 徴収職員の増員によることなく組織を再編し、効率的かつ効果的な滞納整理をすすめていく。
- 市町村の徴収体制が強化されるような方法に見直す必要があると考えるか。
A. 市町村がみずからのニーズに沿った支援を選択して受けられるような支援をしていきたい。
- 今回の取り組みについて、事業主の理解を得るためにどのような取り組みを行ってきたのか。
A. 今回の取り組みに対し、電話等による照会はあるが、苦情の申し立ては少なく、概ね理解を得られているのではないかと考えている。

Q 公共事業の入札不調について

- 現在の県発注公共工事の入札不調の状況について。
A. 平成25年度上半期は4.7%と、若干増加している。下半期の10月は10.1%、11月は12.1%と、更に増加したが、12月は3.7%、1月は7.6%と、減少傾向も見られた。
- 県では予定価格をどのように算出し、また、原因を分析しているか。
A. 入札不調の原因については、技術者や型枠工、鉄筋工など技能労働者の不足に、労務費の高騰や一部資材価格の急激な上昇など、予定価格と見積もり価格が乖離することも、要因の一つと考えられる。
- 増加基調にある入札不調に対して、県はどのように取り組んでいくのか。
A. 契約約款にスライド条項があるので、これを適用して、請負代金額を増額できることになっているので、入札前に丁寧に説明していきたいと考えている。

Q 松くい虫の被害対策について

- まず県内の被害発生状況と被害量の推移について。
A. 標高1,000m以上の地域においても確認されるなど、被害量は、昨年度を大幅に上回る9,169㎡となっている。
- 県では、どのような点に重点をおいて対応しているか。
A. 森林総合研究所において、カミキリムシが羽化脱出する時期を地域別に予測し、地上散布などの予防対策の実施時期や駆除を完了すべき時期について、市町村にも情報提供している。
- 松くい虫の被害拡大防止にどのように取り組んでいるのか。
A. 明年度は、昇仙峡地域や富士北麓地域について、防除重点区域として設定した上で、関係市町村と連携を図りながら、徹底駆除に務めている。

※山田一功オフィシャルHPから質問の様子がTV録画でご覧いただけます。

※山田一功オフィシャルHPから
質問の様子がTV録画でご覧いただけます。

部長とする県議会雪害
対策本部が設置され、山田一功も副本部長
(土木森林環境委員会委員長)として被害
の全容把握に努め早期復旧に向け取り組み
ました。

2月5日神奈川県議会・2月6日静岡県議会と自民党・県民クラブ議員団
で富士山世界遺産・東京オリンピック等について連携の意見交換会を
実施しました。

第43回信玄公祭り(平成26年4月5日)

県立リニア見学センター視察(平成26年4月10日・24日)